

## 「子ども食堂」の拡充に向けて

「子ども食堂」が増えてきている一方で、その運営にあたりいくつかの課題がある。

### ◆「子ども食堂」の現況

子ども食堂は公民館などでボランティアによって運営されることが多く、農林水産省の調査によると、月1回程度の開催先が48.5%と約半数を占めている〔図表1〕。その開催日はチラシ等で告知され、参加費用は無料または数百円程度である。また、半数以上の子どもの食堂が高齢者や大人も利用できると回答しており〔図表2〕、1回あたり平均利用者数（ボランティアを除く）は子ども24名で、大人15名である。

全国の子どもの食堂は2023年には9132カ所と18年比約4倍に急拡大している〔図表3〕。都道府県別では東京都の1010カ所が最も多く、兵庫県は3番目の521カ所である〔図表4〕。子どもを中心に親や高齢者などが集まり、多世代交流の場になっていることが増加につながった理由のひとつと考えられる。

### ◆運営上の課題

子ども食堂の運営上の課題で回答が多かった上位3つは、①来てほしい子どもにも来てもらうことが難しい、②運営費の確保が難しい、③運営スタッフの負担が大きい、である〔図表5〕。

そこで、①の課題に関して、来てもらいやすいという観点から小学生千人当たりの子ども食堂数をみると、兵庫県は1.92カ所の11位と全国平均

(1.51カ所)を上回っている。また、関西2府4県に限ると滋賀県(2.47カ所)に次いで2番目である。一方、③の運営スタッフに関して、子どもを対象としたボランティア活動を行った人の比率、すなわち行動者率(15歳以上、除くスポーツ活動)をみると、兵庫県は39位で4.3%と低い。ボランティア人材をどのように確保していくかが課題であるといえよう。

### ◆官民一体で課題に取り組む

前記②の運営費の課題に対して、神戸市は子ども食堂を運営する団体に実施頻度に応じた補助金を交付し対応している(月1回の開催先に年額10万円、月2回は同20万円など)。県内企業の中には寄付金や食材を提供している先がある。また、会社で使用していない施設に従業員が子ども食堂を開設し、地域のボランティアに調理作業について協力を仰ぐ形で運営しているところもある。

このほか、民間の支援団体として「兵庫子ども食堂ネットワーク」があり、運営ノウハウや補助金に関する情報の提供、支援企業の募集と食材提供の取次ぎ、食堂の開設希望者のサポートなど、県内における子ども食堂に関する問題解決に向けて活動している。応援する人が増え、みんなが行ってみたいという場所が増えれば、来てほしい子どもたちが参加しやすくなるだろう。地域と官民が一体となって、コミュニケーションの場となる子ども食堂が広がることに期待したい。

(上席研究員 河村 真二)

図表4 2023年 都道府県別 子ども食堂数

都道府県名	子ども食堂数		小学生数		小学生千人当たりの子ども食堂数		子どもを対象としたボランティア活動の行動者率※	
	(箇所)	順位	(千人)	順位	(箇所)	順位	(%)	順位
東京都	1010	1	624	1	1.62	20	4.6	29
大阪府	757	2	410	3	1.84	13	4.3	37
兵庫県	521	3	271	8	1.92	11	4.3	39
神奈川県	484	4	440	2	1.10	40	5.2	17
埼玉県	409	5	355	5	1.15	38	4.0	43
滋賀県	193	12	78	26	2.47	7	6.3	3
島根県	98	34	32	45	3.02	5	7.0	1
鳥取県	83	38	27	47	3.05	4	6.5	2
全国平均	194	-	129	-	1.51	-	4.6	-
関西平均	309	-	163	-	1.89	-	4.4	-

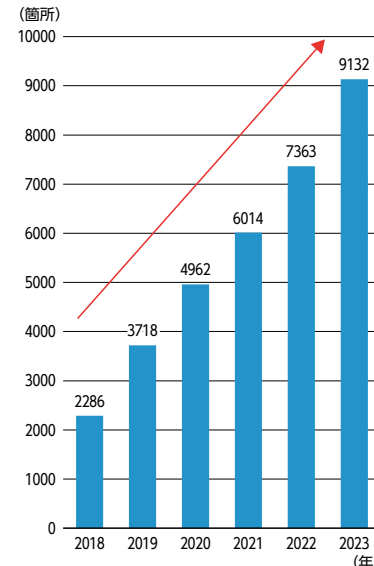
資料：「認定NPO法人全国子ども食堂支援センターHP」、「学校基本調査」、「社会生活基礎調査」より作成  
※15歳以上の人で、過去1年間に子どもを対象としたボランティア活動(スポーツを除き、児童保育、学校行事の手伝いなど)を行った人の割合。

図表5 子ども食堂の運営の課題 (複数回答) (%)

①来て欲しい子どもにも来てもらうことが難しい	42.3
②運営費の確保が難しい	29.6
③運営スタッフの負担が大きい	29.2

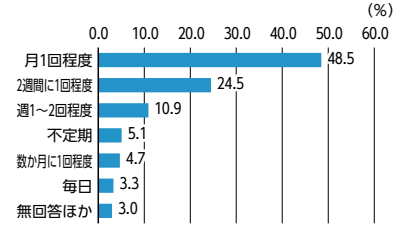
資料：農林水産省「子ども食堂向けアンケート調査集計結果」より作成

図表3 全国「子ども食堂」の数



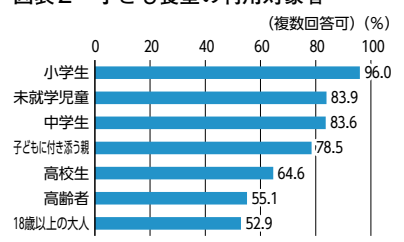
資料：認定NPO法人全国子ども食堂支援センターHPより作成

図表1 子ども食堂の開催頻度 (%)



資料：農林水産省「子ども食堂向けアンケート調査集計結果」より作成

図表2 子ども食堂の利用対象者 (複数回答可) (%)



資料：農林水産省「子ども食堂向けアンケート調査集計結果」より作成